

名家連ニュース

令和6年2月24日(土)
発行：特定非営利活動法人
名古屋市精神障害者家族会連合会
会長 池山 豊子
TEL/FAX(052)846-5576 NO.983号

◆◇ 令和6年2月家族 SST 講座 報告 ◇◇

今年最初の家族 SST 講座が、2月17日(土)同朋大学博覧館2階会議室にて行われました。今回初めての参加者はなく、吉田先生含め7名の参加でした。

さっそく前半は津端精神保健福祉士(もりやま総合心療病院)さんの進行で、夏までにやりたい事を添えた自己紹介で始まりました。体力、脚力をつけ山登り、家の片付け、旅行に…年代共通項?が並びました。その後各々近況を出し合いました。



*息子が又無気力になり昼夜逆転になった。薬が効かない。期待した磁気治療を開始してみたが、途中で効果がないとのことでやめた。一人でキャンプに行ったり、予約して温泉に行ったりはするという。何を手助けしたらいいか?母親はつい何かしてやりたいと思うが、父親は冷静という方の話から…

～横と繋がることは大事～

- ・当事者グループがあるが、そこには行けないがネットで繋がる仲間とは会ったりする。買い物に行けない息子が、買い物してくれたヘルパーさんの計算間違いを伝えられた事に成長を感じた。
- ・名古屋市若者総合相談センターから3年続けているが意味ないと言われる。知らない人と始めるのは本人の抵抗がある。ネットだと繋がれる。
- ・B型作業所に行っているがイヤイヤ行っている。行くのがいいのか?悪いのか?
- ・病院のデイに毎週通い、安定した生活リズムができています。
- ・訪問看護を利用している方が多い。病院のケースワーカーや保健センターに相談するといいい。
- ・一人暮らしを始めたので、定期的に決まった人が話し相手に訪問してくれると安心になる。これから利用したいと連絡をとっている。
- ・災害時の対応について…

パニックになるのでお薬手帳はいつも持ち歩く事や病院や薬局の名を覚えておく事が大事。マイナンバーカード利用の話題もでした。

～吉田先生より～

ヘルパーさんとか訪看さんが何をする人かわからないから抵抗がある。「こんなことしてくれるよ～」と具体的に知らせると「じゃあ～」となる。リビングや病院にパンフ等を置いておくとかするのもいい。「今」のところから、どう歩むか? 人それぞれ違う。「ここまでは」と思えるのは大事です。

次回は3月23日(土)13時半～同朋大学博覧館2階会議室にて開催します。(担当 熊谷)